

市のお金は適正・効果的に使われたか？

平成29年度の決算内容をチェック！



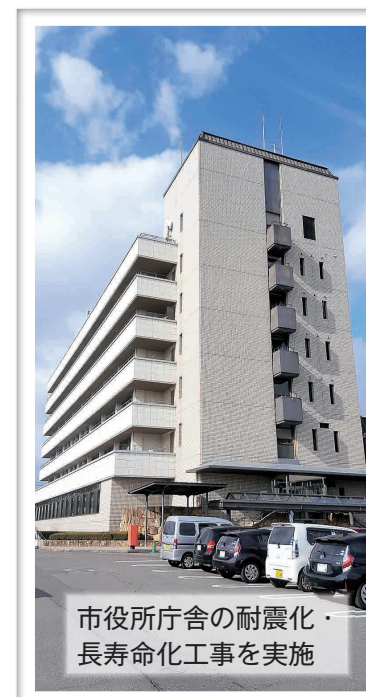
小・中学校の授業にタブレット、デジタル教科書などのICT機器を導入
(平成29年度はモデル校5校が対象)



アルネ津山に人材育成セミナーなどを開催する「津山まちなかカレッジ」がオープン



市内山下に中心市街地の駐車需要に対応した「津山市城南駐車場」を整備



市役所庁舎の耐震化・長寿命化工事を実施



10万都市「津山」にふさわしい玄関口を目指し「津山駅北口広場」を供用開始



子ども医療費の自己負担分を中学校卒業まで完全無料化
(平成29年7月から実施)

平成29年度はこんな事業がありました

今回の12月定例会初日には、9月定例会で提出されていた平成29年度一般会計・特別会計などの決算議案19件について採決を行い、全ての決算議案を認定しました。
なお、決算内容の詳細については「広報津山1月号」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。

私はこう考える！ 反対討論

美見みち子議員 引き上げに反対していた消費税の増税分が含まれている歳入の地方消費税交付金、個人情報漏洩の不安があるマイナンバー制度事業、水が余る状態となっている苦田ダム関連費用などを含む一般会計決算には反対する。(その他4決算議案に反対)

債権管理の現状は？



秋久憲司議員

問 債権管理条例の制定や債権管理室の設置を行ったが、現状は？

答 債権管理条例の制定に伴い、共通マニュアルなどを作成し、条例の基準に基づいた債権管理を進めている。また、弁護士と連携した未収金回収の訴訟なども行っている。平成29年度は約1億5,000万円の収入未済金を削減できた。

鉄道施設関連事業の効果



美見みち子議員

問 津山まなびの鉄道館運営補助金等、鉄道施設関連予算の事業効果は？

答 津山まなびの鉄道館は、平成28年のリニューアル以降、平成30年4月で入館者15万人を達成している。また、津山駅北口広場へ移設されたSL「C11-80号」も、まちのにぎわい創出につながることが期待される。

決算の総括について



中島完一議員

問 平成29年度決算をどのように総括するのか？

答 小中学校の改修、市庁舎耐震化などの大型事業に集中的に取り組んでいることから、大規模な決算となった。また、つやま産業支援センター事業などの地方創生施策にも積極的に取り組んでおり、津山市の発展に資する事業が実施できていると考えている。

子ども医療費の無料化



安東伸昭議員

問 子ども医療費の無料化による効果は？

答 子ども医療費の中学校卒業までの完全無料化は、平成29年7月から実施している。制度拡充により、子育ての経済的負担感の軽減はもとより、子どもの貧困対策の一助となるものであり、子育て環境の充実につながっていると考えている。

こけないからだ講座



田口浩二議員

問 「めざせ元気!!こけないからだ講座」の費用と効果は？

答 一般介護予防事業費として、約891万円を支出しており、運動に使う器具の貸し出し、介護インストラクターの派遣等を行っている。本事業が多くの参加者により継続されていることは、この取り組みを通じて健康づくりの意識が根づいてきたものと認識している。

なぜ？
どうして？
徹底審議

